## 原子力対策特別委員会

平成26年9月19日の委員会は、中部電力株式会社が実施している安全性向上対策工事の現場視察を行いました。

**1 地下水槽設置工事**

30メートルの高台に設置された地下水槽（9千トン）のコンクリート打設も終わり、内外面の塗装工事及び送水トンネル内の配管設置が進められています。ポンプ室には電動及びディーゼル駆動の送水用大型ポンプが2台設置され、電源が喪失した場合にはディーゼルポンプを使用し、ポンプが使用できない場合には高低差により送水できます。緊急時にはほかの貯水タンクも含め1週間ほど重要施設に送水することができるとの説明がありました。

中部電力株式会社より提供

**2 ガスタービン建屋**

高台40メートルに設置された緊急時タービン建屋は、免震構造となっていますが、さらに揺れを減衰させるためにオイルダンパーを設置する工事が進められています。

**3 4号機フィルタベント設置工事**

高さ11メートル直径5メートル、深さ30メートルのフィルタベントを設置するための躯体工事も地上部まで工事が進み、原子炉建屋などへの配管工事が進められています。

**4 5号機周辺の地盤改良工事**

防波壁の基礎部周辺の地中に高圧噴射によって固化剤を注入し、強固な地盤とするための改良工事が進められています。

## 議会改革特別委員会

平成26年9月22日に委員会を開催し、小委員会が議会報告会の内容（テーマ）などの調査研究をし、次の内容について資料作成をしていくことになりました。

調査内容は次のとおりです。

・住宅取得・定住化促進・リフォームなど既に実施されている優遇策及び市内外の状況などについて

少子化などによる将来の人口減少を踏まえ、定住化の促進が市の活力につながるのではないかと考えます。また、住環境、利便性、地域コミュニティなど住み良い地域で生活したいということは誰もが願うことです。

議会では、今後も市民の皆様に身近な話題を提供してまいります。

## 行財政改革特別委員会

平成26年9月22日に委員会を開催し、議会が提言した「子育て支援体制の整備に関する提言」について、対応すべき政策の確認と現状の報告を執行部から受けました。内容は次のとおりです。

**1 子育て支援組織の一元化について**

**現状**

一元化の方向で進めている。

**課題**

・事務所のスペースの問題

オフサイトセンター及び原子力広報研修センター活用を検討中

・保健師の確保が困難

・管理職に相当する保健師の不足

・子育て支援以外の業務（地域福祉、障がい者福祉、健康増進、国保年金）をどう組織するか

・教育委員会で受付している幼保の申請

子育て支援室を拡充し、両方で連携を図りながら受付できる方向を検討中

**2 子育て拠点施設の整備について**

オフサイトセンターの移管後、防災課、子育て支援部門、教育委員会の拠点施設に利用ができるのではと考えています。

オフサイトセンター

**3 市立保育園の民営化について**

**現状**

浜岡保育園は規模も大きく、民間経営も可能な園と考え、第2次総合計画に入れることを検討している

**課題**

受入先、施設の耐用年数、立地場所などの問題

以上の報告を受け、委員からは次のような意見がありました。

・組織の一元化については場所ありきではなく、早期に取り組むこと。

・保育園の民営化は職員定数、一人親家庭の夜間保育を救済する意味でも早期実現に向け鋭意取り組むこと。

# 一般質問

7名が登壇 市政を問う

＊この一般質問は9月9日と10日に行われたものです。

## オリンピック練習地の可能性について 人口減少対策について

曽根正浩

**問 オリンピック練習地の誘致の可能性は**

**答** 静岡県における「東京オリンピック・パラリンピック」事前合宿誘致活動については、県が窓口となり各市町の取りまとめを行っています。御前崎港マリーナは「わかふじ国体」でヨットセーリング競技を牧之原市と共同開催した実績もあり、事前合宿地としてぜひ利用していただけるよう、県の招致意向調査に回答しました。

**問 人口減少問題の対策は考えているか**

**答** 若者の定住化を促進し、市の活性化に繋げていくことは、これからの御前崎市にとって大変重要な課題と認識しております。現在、固定資産税の半額を補助金として交付する「定住促進奨励金」、住宅取得価格の10パーセント（上限50万円）を交付する「住宅取得補助金」を行っています。近隣市も含めた中東遠地域で雇用の場を確保し若い世代を呼び込む、また婚姻を促進して新たな世代を生む政策や子育て支援策の充実などの魅力を発信する必要があると考えております。

**問 ヨットセーリングの普及は考えているか**

**答** ヨットセーリングは、委託事業のなかで多くの人に楽しんでいただけるよう、体験教室を実施しております。

ヨットハーバー

## 水素社会対応について 乾式貯蔵施設建設に対する説明会開催について 乾式貯蔵用金属キャスク製造工場誘致について

齋藤 洋

**問 水素燃料電池車の市公用車としての購入は。また、水素ステーション建設及び建設補助金支給意向は**

**答** 水素燃料電池車の公用車としての購入は、技術・コスト・インフラ整備などの課題が多いことから現時点で購入予定はございません。

また、水素ステーションの建設については、現状では考えておりません。補助制度の検討も時期尚早だと思っています。

**問 浜岡原発「使用済燃料乾式貯蔵施設」建設に伴う、中電及び国・県・市からの市民向け説明会の開催は**

**答** 中電によると、佐倉地区及び町内会連合会への説明会は既に実施し、今後、各地区への説明会やダイレクトメールでの周知活動を検討しているのことです。

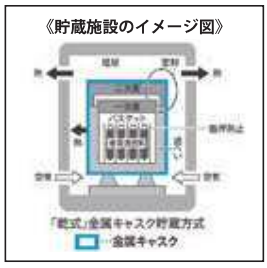
また、市としての説明会は今のところ考えていませんが、地区から要望があれば検討したいと考えます。

**問 乾式貯蔵用金属キャスク製造工場市内誘致の考えは**

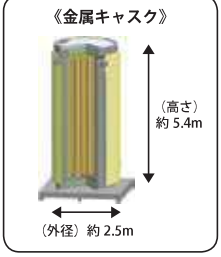
**答** 浜岡原発用に当面使用される金属キャスクの本数を勘案すれば、キャスク製造を目的とした工場の誘致は、厳しいものと考えます。

《使用済燃料乾式貯蔵施設》

《貯蔵施設のイメージ図》




《金属キャスク》




中部電力株式会社より提供